

# チェックリスト

共通項目

青果物

穀物

No.	規範項目	チェック欄	国ガイドライン対応番号	
			穀物	青果物
1	農場の基本情報(栽培品目名、ほ場(きのご類の場合は、ほだ場。以下同様。)や施設の名称・所在地等)を明確にして、整理し、必要に応じて文書化している。		1	1
2	組織体制を定めて、責任範囲及び責任者を決定し、周知している。		2	2
3	各部門の責任者の能力を向上するための体制が整備されている。		2	2
4	農場経営に必要な「食品安全」、「環境保全」、「労働安全」、「人権保護」、「農場経営管理」の継続的改善に関わる要求事項を明確にし、それに沿った農場運営の方針・目的を定め、周知している。		3	3
5	本基準書に沿った農場の管理を実施するため、農場のルールを定め、そのルールに従い作業を実施・記録し、自己点検等を踏まえた見直しを行っている。		4	4
6	登録品種の種苗の適切な使用など知的財産の保護・活用を適切に実施している。		5	5
7	農場の目標に基づいた生産計画を作成している。		6	6
8	実施した農作業を記録し、次の計画作成に活用している。		6	6
9	農場の管理を実証するために必要な記録の内容とその保管期間を特定し、記録を作成・保存している。		7	7
10	出荷する商品の表示の管理及び収穫記録と結びついた農産物の出荷記録、それ以外の農場の管理等に関する記録を作成・保存している。		11	11
11	農場のルールに基づく管理を遵守することについて外部委託先と合意している。		14	12
12	資材等の供給者及び検査機関を含むサービス提供者は信頼できる業者に依頼している。		15	13
13	クレーム及び内部で発覚したリスク要因への対応手順を定め、実施し、記録を作成・保存している。		16	14
14	事故や災害等に備えた農業生産の維持・継続のための対策を実施している。		17	15
15	作業者が必要な力量を身に付けるため、教育訓練を実施している。		22	20
16	食品安全・衛生管理・労働安全・環境への配慮に関する入場時のルールを定めて、農場入場者(訪問者を含む)に対して周知し、実施させている。		28	25
17	計量機器の点検・校正を実施し、記録している。		41	37
18	農薬や肥料の使用状況をきちんと記録し、保存している。		62,68	58,64
19	経営改善のために、農薬や肥料の在庫を把握している。		63,69	59,65
20	ほ場や施設から通える場所に清潔な手洗い設備やトイレ設備を確保し、適切な備品等を準備するとともに、正しい手洗い方法について作業員に周知するなど、衛生管理を実施している。		29	26
21	喫煙、飲食は指定された場所で行い、農場内の農産物に共通する工程の確認等により、異物混入やアレルギーと農産物の交差汚染の防止を実施している。		38	34
22	食品安全に関する危害要因についてリスク評価を行い、リスクが高いと評価した事項について、リスクを防止低減するための対策を農場のルールとして設定し、実施するとともに、検証、見直しを行っている。		8	8

No.	規範項目	チェック欄	国ガイドライン対応番号	
			穀物	青果物
23	ほ場やその周辺環境(土壌や汚水等)、廃棄物、資材等からの危害要因による土壌の汚染及びそれに由来する農産物の汚染の可能性について、リスク評価を行い、評価結果に基づく対策を実施している。		30	27
24	農産物を適切に保管、貯蔵し、調製・出荷作業場、保管・貯蔵施設など全ての農産物取扱施設における衛生管理を実施している。		39	35
25	農産物の取扱施設・設備の保守管理、点検、整備、清掃等の適切な管理に加え、有害生物の侵入・発生防止対策、異物、有毒植物等の混入防止対策を実施している。		37	33
26	栽培・収穫・調製・運搬に使用する器具・包装容器等や掃除道具及び洗浄剤・消毒剤・機械油等の安全性を確認するとともに、適切な保管、取扱い、洗浄等を実施している。		42	38
27	使用する水の水源を確認し、水に含まれる危害要因による農産物の安全性に関する評価と、評価結果に基づく対策を実施している。		34	30
28	信頼できる供給元からの適正な手段による種苗の入手、育苗の管理及び種苗の調達に関する記録を保管している。		50	47
29	使用する予定の農薬の情報をまとめ、使用基準違反を防ぐ農薬使用計画を策定し、適正に農薬を使用するとともに、使用前にラベルの注意事項等の再確認を実施している。		55,56	52,53
30	農薬管理の責任者は、適正使用の指示と検証を行っている。		64	60
31	隣接ほ場からの農薬ドリフトの影響を回避できるよう対策している。		51	48
32	労働安全に関するリスク評価を行い、リスクが高いと評価した事項についてリスクを低減・排除するための対策を農場のルールとして設定し、実施するとともに、検証、見直しを行っている。		9	9
33	安全に作業を行うための服装や保護具の着用・管理を実施している。		26	23
34	清潔な水・救急箱の用意、連絡方法などを含めた事故対応手順を定めて、農作業従事者等に周知している。		27	24
35	機械、装置、器具等は、使用説明書をよく読み、内容を理解してから適切に使用している。		43	39
36	農薬の容器等の表示内容を確認し、表示に基づく安全な作業を行うための装備を整え、調製、防除、片付け作業を行っている。		59	56
37	農薬の防除衣、保護装備等は適切に洗浄、乾燥し、他への汚染がないように保管している。		59	56
38	適切に実施しなければ危険を伴う機械作業、高所作業又は農薬散布作業等従事者に対し、必要な能力及び資格を得るための訓練を実施している。		25	22
39	環境に負荷を与える要因を特定してリスク評価を行い、リスクが高いと評価した事項について、リスクを低減・排除するための対策を農場のルールとして設定し、実施するとともに、検証、見直しを行っている。		10	10
40	堆肥、わらや緑肥といった有機物の活用による土づくり等を通じた適正な土壌管理を実施している。		32	28
41	作物の残さは、堆肥化してほ場に還元するなどして有効活用し、廃棄物の削減に努めている。		46	42
42	雨や風で表土が失われやすいほ場で侵食を防ぐ対策をとっている。		33	29
43	ほ場及び農産物取扱施設で発生した排水(排水中の栄養成分を含む)やそれに含まれる植物残さ、廃棄物等を適切に管理している。		35	32
44	周辺住民等に対する騒音・振動・悪臭・煙・埃・有害物質の飛散・流出等の配慮と対策を実施している。		48	44
45	ほ場等への鳥獣の接近を制限する取組等による生物多様性に配慮した鳥獣被害防止対策を実施している。		49	45

No.	規範項目	チェック欄	国ガイドライン対応番号	
			穀物	青果物
46	温室効果ガスの発生抑制や、省エネルギーに取り組んでいる。		45	41
47	病害虫・雑草が発生しにくい生産環境を整備している(IPMにおける「予防」の取組)。		52	49
48	病害虫・雑草の発生状況を把握した上で防除要否及びタイミングを判断している(IPMにおける「判断」の取組)。		53	50
49	多様な防除方法(防除資材、使用方法)を活用した防除に取り組んでいる(IPMにおける「防除」の取組)。		54	51
50	農薬は、周辺環境を汚染しない場所で必要な量だけ調製し、使用した計量機器等の洗浄を適正に実施している。		57	54
51	栽培暦や土壌診断の結果を基に施肥計画を立て、計画に基づいて肥料の施用量を決めている。		67	63
52	農薬散布時における周辺作物・周辺住民等への影響を回避する対策を実施している。		58	55
53	農場内の整理・整頓・清潔・清掃を実施し、廃棄物の不適切な処理・焼却がないように徹底している。		47	43
54	原材料・製造工程の把握による肥料等の安全性や成分を確認し、食品安全、環境保全に配慮した肥料等の利用計画を作成している。		66	62
55	農薬使用前は防除器具を点検し、使用後に適切に残液を処理、十分に洗浄し、洗浄排水を処理している。		61	57
56	農場から出る廃棄物を把握し、適切に分別・管理して処分している。		46	42
57	食品安全(農産物への接触防止等)、環境保全(環境への流出防止等)、労働安全(火災防止等)に配慮して燃料類を保管している。		44	40
58	器具、容器、設備、機械・装置及び運搬車両を把握し、安全装備等の確認、衛生管理、使用前点検、使用後の整備及び適切な管理を実施している。		40	36
59	食品安全(容器移し替え禁止、いたづら防止の施錠等)、環境保全(流出防止対策等)、労働安全(毒劇・危険物表示、通気性の確保等)に配慮して農薬の保管、在庫管理を実施している。		63	59
60	堆肥製造にあたっては、適切な期間・温度の発酵維持による雑草種子、有害微生物の殺滅対策等を実施し、適正な堆肥を使用している。		65	61
61	食品安全(未熟堆肥との接触による交差汚染防止、農産物への接触防止等)、環境保全(流出防止等)、労働安全(崩落・落下、発熱・発火・爆発防止等)に配慮して肥料等の保管、在庫管理を行っている。		69	65
62	雇用・労働環境における人権侵害の防止について、管理方法を定めて実施している。		18	16
63	技能実習生など、外国人の雇用者に対して、適切な対応を行うための環境整備を実施している。		19	17
64	家族経営において、家族間の十分な話し合いに基づいて経営を実施している。		20	18
65	労働条件を遵守し、労使間における労働条件、労働環境、労働安全等に関する意見交換を定期的に実施している。		21	19
66	業務が原因で負傷、もしくは疾病にかかった農作業従事者を保護するための各種保険に加入している。		23	21



## 青果物

No.	規範項目	チェック欄	国ガイドライン対応番号	
			穀物	青果物
67	養液栽培の場合、培養液の汚染の防止に必要な対策を実施している。			31
68	セイヨウオオマルハナバチを利用している場合は、飼養に関する環境省の許可取得及び適切な飼養管理を実施している。また、その他外来生物を利用する場合についても、適切な飼養管理を実施している。			46
69	スプラウト類の農産物取扱工程における衛生管理を実施(管理体制の整備、作業者の健康・衛生管理を含む)している。			66
70	スプラウト類の培地、栽培容器の安全性の確認と適切な管理を行っている。			67
71	スプラウト類に使用する水について、水質検査、給水設備の保守管理、異物混入防止対策、微生物汚染防止対策を実施している。			68
72	スプラウト類(種子、作物を含む)を扱う場所は他の区域との境界を明確にし、衛生管理を実施している。			69
73	スプラウト類の生産設備について、工程ごとに専用化を実施している。			70
74	スプラウト類の種子の殺菌・衛生管理を実施している。			71
75	りんごのカビ毒(パツリン)汚染の防止・低減対策を実施している。			78
76	ボイラー及び圧力容器の設置・使用に必要な届出、取扱作業主任者の設置は適切に行われている。			76
77	ボイラー及び圧力容器の定期自主点検の記録を保管している。			77
78	きのこ類の原木・菌床資材等や種菌の安全性を確認し、適切な管理を実施している。			72
79	きのこ類の培養施設の温度・湿度等の適切な環境条件の維持及び衛生管理を実施している。			73
80	菌床資材及び工程別作業についての記録を残し、保管している。			74
81	きのこ類の培地調製、種菌接種において、汚染を防ぐための取組を行っている。			75

## 穀物

No.	規範項目	チェック欄	国ガイドライン対応番号	
			穀物	青果物
82	用途限定米穀・食用不適米穀は、適切に保管、販売、処分している。		13	
83	乾燥調製貯蔵施設において、施設の適正な管理・運営を実施し、管理者とオペレーターの責任分担を明確化している。		24	
84	異物や異種穀粒の混入を防止する対策を実施している。		12	
85	生産する農産物のカドミウム濃度が基準値を超える可能性のある地域では、その基準値を遵守できるよう、生産される農産物のカドミウム濃度に応じた低減対策を実施している。また、それ以外の地域においても、食品安全上のリスクをできるだけ減らすための対策を実施している。		31	
86	水田からの農薬流出を防止する対策を実施している。		60	
87	麦類のDON・NIV等のカビ毒汚染低減対策を実施している。		70	
88	水田代かき後等の濁った水が、ほ場外に流れないように対策を実施している。		36	

# チェック書類一覧

下記リストに記載されているチェック書類は、あくまでも参考例になります。また、帳票様式も農場の実情に合わせて適宜修正いただいた上で、ご活用下さい。

No.	チェック書類 参考例
1	ほ場地図、ほ場台帳(帳票様式第1号)
2	組織図(帳票様式第2号)
3	講習会・研修会の開催案内、専門書籍、資格免許証
4	農場運営の方針(帳票様式第3号)
5	農場ルール(帳票様式第4号)、作業手順書、農薬使用計画
7	生産計画表(帳票様式第5号)
8	農作業記録簿(帳票様式第6号)、作業日誌、栽培記録
9	帳票保管一覧表(帳票様式第7号)
10	出荷先・販売先リスト、栽培記録、送り状、納品書
13	クレーム対応マニュアル(帳票様式第8号)、クレーム・ルール違反对応記録(帳票様式第9号)
14	自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト
16	農場入場時のルールの掲示
17	計量機器点検表(帳票様式第10号)
18	農薬使用記録簿(帳票様式第11号)、肥料使用記録簿(帳票様式第12号)
19	農薬在庫管理簿(帳票様式第13号)、農薬在庫管理簿(帳票様式第14号)
22	リスク評価表(帳票様式第15号)
23	リスク評価表(帳票様式第15号)
28	種苗購入記録表(帳票様式第18号)
29	農薬使用計画表
30	農薬散布指示書(帳票様式第19号)
32	リスク評価表(帳票様式第15号)
34	事故対応手順(帳票様式第16号)、緊急連絡先リスト(帳票様式第17号)
35	取扱説明書、機械点検表
39	リスク評価表(帳票様式第15号)
46	機械点検表、節水・節電に関する掲示
51	土壌診断結果、施肥計画表
54	施肥計画表
58	機械点検表
77	ボイラー及び圧力容器の点検・記録表
80	工程別作業記録